

○ ウイキョウ (茴香)

語源

ウイキョウ属 *Foeniculum* は、ラテン語 foenum(faenum)「干し草」+指小辞(「小さい」などの意味を表す接辞) -culum から。種小名 *vulgare* は、ラテン語 vulgus ウルグス「大衆、一般民衆」の形容詞形である vulgaris ウルガーリス「普通の、広く分布した」の中性形。

茴香とは、魚肉の「香りを回復する」香辛料の意で、「ウイ」は茴の唐音。

基原

Foeniculum vulgare Miller ウイキョウ

セリ科 多年生草本

シキミ科のトウシキミ *Illicium verum* Hook. fil. の果実(大茴香、八角茴香)に対し、小茴香ともいう。



薬用部分

果実

全草に独特の芳香があり、とくに果実は香りが強く、わずかに辛味がある。果実はフェネルの名で香辛料として知られ、魚や肉の料理によく合い、フランス料理やイタリア料理などによく用いられている。欧米では新鮮な茎、とくに根に近い部分を生で食べることもある。

産地

中国、ヨーロッパ、インド、日本(長野、鳥取)など

主な成分

精油：アネトール、d-リモネン、エストラゴール、アニスアルデヒド、フェンコン、ピネン、ジペンテンなど
 脂肪油：ペトロセリン酸、リノール酸など
 フラボノイド配糖体：フェニクラリン



主な薬効

芳香性健胃、去痰、駆風

代表的処方

粉末を芳香健胃薬として配合剤(胃腸薬)の原料とする。また、漢方処方用薬でもあり、健胃消化薬、鎮痛鎮痙薬とみなされる処方に少数例配合されている。

【安中散】

アンチュウサン

体力中等度以下で、腹部は力がなくて、胃痛又は腹痛があつて、ときに胸やけや、げっぷ、胃もたれ、食欲不振、はきけ、嘔吐などを伴うものの次の諸症： 神経性胃炎、慢性胃炎、胃腸虚弱
 (処方内容) 桂皮/延胡索/牡蛎/茴香/縮砂/甘草/良姜

【枳縮二陳湯】

キシクニチントウ

体力中等度以下で、胃腸が弱いものの次の諸症： 悪心、嘔吐、胃痛、胃部不快感、胸痛
 (処方内容) 枳実/縮砂/半夏/陳皮/香附子/木香/草豆蔻/乾姜/厚朴/茴香/延胡索/甘草/生姜/茯苓

【丁香柿蒂湯】

チョウコウシテイトウ

体力中等度以下のものの次の諸症： しゃっくり、胃腸虚弱
 (処方内容) 柿蒂/桂皮/半夏/陳皮/丁子/良姜/木香/沈香/茴香/藿香/厚朴/縮砂/甘草/乳香

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「漢方のくすりの事典」「日本薬草全書」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp